

# 千葉大学医学部附属病院で心不全のため入院された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年8月26日

循環器内科

循環器内科では、「心不全患者における、植込み型補助人工心臓装着に関する3つのリスクスコアの相関性の研究」を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

2014年7月から2022年12月に千葉大学医学部附属病院に入院し、  
心不全と診断された方

### 1. 研究課題名

「心不全患者における、植込み型補助人工心臓装着に関する3つのリスクスコアの相関性の研究」

### 2. 研究期間

2024年承認日～2025年3月31日（観察期間：～2024年8月31日）

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

### 3. 研究の目的・方法

重症心不全患者さんに対する治療のひとつとして、植込み型補助人工心臓の手術があります。この手術後の成績を予測するものとして、術前の検査結果などをもとにした3つのリスクスコアがありますが、日本人の心不全患者さんでは3つのリスクスコアが互いにどのように関係するかはわかっていません。それぞれのリスクスコアが高くなる患者さんの特徴を比べることで、この手術を行うときにリスクの高い患者さんの特徴が判明することが期待されます。

この研究では、患者さんのカルテ情報のみを利用させていただきます。患者さんの年齢や各種検査結果から、リスクスコアを算出します。この研究のために新たな受診や検査を受けていただく必要はありません。また、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究IDに置き換えた情報は千葉大学循環器内科で解析が行われます。

#### 4. 研究に用いる情報の種類

カルテの情報のみを利用させていただきます。

診療記録に記載されている年齢、性別、生活歴（飲酒・喫煙など）、既往歴、併用薬、家族歴、血液検査値、心臓超音波検査のデータ、カテーテル検査のデータ、臨床イベント（治療が必要な出来事）を用いる予定です。また退院後の経過をお電話で伺うことがあります。

#### 5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：循環器内科 助教 岩花 東吾

#### 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院循環器内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

#### 7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

い。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

循環器内科 医員 青木 薫子

043（222）7171 内線 71236